

皆さん、とても上手に作れていました。

夏休み親子工作

クラフトテープでカゴを作ろう!

7月24日(水)に親子工作を行いました。



ピックアップ図書

図書館にまいこんだこどもの超大質問

編:こどもの大質問編集部

町の図書館や放課後の図書室...。その静かな空間には日々、子どもたちから多種多様な質問が寄せられています。「どうして?」と疑問に思うことがあれば、調べに来ることも。子どもたちの豊かな問いの回答を一冊にまとめました。



図書館だより



問 南風原町立図書館 ☎889-6400

開館時間/10:00~19:00(土日17:00まで)

休館日/毎週火曜日、第4木曜日、祝日

9月 受入予定図書

都合により受入れが遅れる場合があります(詳しくは図書館まで)

- ★志麻さんのレシピノート/タサン志麻
- ★心に効く美容/MEGUMI
- ★頂を目指して/石川祐希
- ★本当の「頭のよさ」ってなんだろう?/齋藤孝
- ★うんどうかいバス/藤本ともひこ
- ★愚か者の石/河崎秋子
- ★海を破る者/今村翔吾
- ★これでわかる PFAS(ピーファス)汚染/原田浩二



電子図書館 ホームページ

いつでもどこでも読める電子図書館



電子図書館 申し込みについて

学校応援隊 はえばる

ボランティアに協力いただける方は、問 南風原中央公民館 ☎889-0568 ぜひお電話ください。

北丘小学校 特別支援 令和6年7月~毎月1回

空手



かきのはなひろみつ 垣花弘光さん

自立支援活動の一環で7月から空手を通してマナーや挨拶も教わっていきます。1回目は拳の握り方や突きを教わり、数名の児童が講師の垣花さんから「上手だね!空手やったことあるの?」とお褒めの言葉をいただきました。

翔南小学校 5学年 令和6年7月18日

キャリア講話 警察官



与那原警察署 警務課 新垣善也さん 南風野盛紀さん

警察官になるためにはどのような進路を進めばいいのか、地域の安全を守るためにどんなお仕事をしているのか聞かせてもらい、仕事に使う警棒をみせていただき将来について考えるきっかけとなりました。

翔南小学校 4学年 令和6年7月4日

南風原町とカナダとの交流



よざもあ 町企画財政課 與座萌彩さん

町内4小学校で行われるアイススケート体験の事前学習で、南風原町とカナダ・レスブリッジ市が友好都市になった経緯と、中学生対象の国際交流事業について学習しました。

翔南小学校 5学年 令和6年7月18日

キャリア講話 マンガ家



なかまさとる 仲間理さん

一度就職後、夢を諦められず専門学校へ通い、スカウトされた事がきっかけでマンガ家になった仲間さん。児童に「若いときの苦労は買ってでもせよ。面倒な事でも嫌がらずにやりきれぬクセをつけよう」とメッセージを送っていました。

文化の泉 宝物

No.56

問 南風原文化センター ☎889・7399

2つの石碑と子どもたちがつなぐ歴史と絆

南風原文化センターのそばに建つ「南風原国民学校児童疎開疎開記念碑」。これは、南風原の児童疎開体験者が2009年に建てたものです。今から80年前、沖繩に戦争の足音が近づいてきた1944年夏、政府は子ども、女性、高齢者を本土へ疎開させる決定をしました。しかし、その頃すでに沖繩近海は危険な状況でした。8月には疎開船対馬丸が沈没し、多くの命が失われたことはよく知られています。実は、南風原の子もたち 97人も対馬丸に乗る予定でした。しかし、直前で降ろされ、同じ船団の和浦丸に乗って出港し、米軍の攻撃を避けてなんとか熊本県にたどり着きました。そして、対馬丸沈没は秘密にされたまま、翌9月にこの南風原の子もたち124人が宮崎県へ疎開しました。疎開先では、親元を離れたの辛い生活が約2年間も続きました。子どもたちは、道に落ちていたミカンの皮までも食べ、夏物の服のまま厳しい寒さと霜焼けをこらえ、沖繩玉砕ということ以外何も知らされず不安な2年間を耐え抜きました。帰郷後、沖繩に残った家族が全滅したことを知り、戦後を苦労して生き抜いた人もいました。沖繩戦は地上戦の悲惨さが注目されますが、児童疎開は「もうひとつの沖繩戦」といえます。この歴史を継承



南風原町の「南風原国民学校児童疎開記念碑」



日向市の「南風原児童疎開記念の碑」

するため、今年度、町内の小学校6年生が参加する子ども平和学習交流事業では児童疎開についての学習を深め、疎開先である宮崎県を訪問します。そして、受入先のひとつだった宮崎県日向市からは毎年中学生の交流団が南風原町を訪れ、町内の中学生と交流会を行い、一緒に児童疎開の歴史を学んでいます。実は、この日向市にも「南風原児童疎開記念の碑」があります。これは、疎開当時苦しい生活を送る南風原の子もたちに何もしてやれなかったから、という思いで、日向市の有志の方々が建てたものです。これまで体験者と受入先の人々との交流が続いてきましたが、近年は高齢化もありそれも難しくなってきました。しかし、たくさんの方が思いが込められた2つの石碑と、両地域の子もたちが、その歴史と絆を引き継いでいます。(前城)

はえばる エコセンターだより

南風原町在住の方優先で、エコを身近に感じられる体験を毎月開催しています。申込みはエコセンターへ来店、または電話にて予約ください。※各講座の詳しい持ち物・注意事項は予約の際にお伝えします。

問 はえばるエコセンター ☎889-4425

リユース制服あります

リユース制服を待っている方がたくさんいます。着なくなった制服を後輩のために寄付しませんか?【もらいたい方】ご自宅サイズなどお確かめになり、身分証明書をご持参してご来店ください。【制服の寄付について】洗濯、アイロンがけをしてシワのない清潔な状態で持ち込みお願いします。汚れが酷い物などは譲り先が見つからないため受付できない場合があります。【場所】はえばるエコセンター南風原町民無料。(町外の方は1点につき500円)



現代風金継ぎ(欠けのお直し)

器の欠けをボンドや塗料で、金継ぎ風にお直しをします。大切な器を長く使う提案です。【日時】9月9日(月)10:00~12:00【場所】はえばるエコセンター【料金】500円【対象】南風原町民優先【定員】4人



いっぺーじょーとー君説明会

家庭用コンポスター「いっぺーじょーとー君」を使ってゴミの削減をしませんか?においがほぼなく、土のような基材と混ぜるだけの簡単なコンポスターです。【日時】9月20日(金) 10:00~11:00 ※別日に説明希望の際はお気軽にお伝えください。【場所】はえばるエコセンター【料金】無料【定員】4人



『おもちゃ』リユース0円マーケット

使わなくなったおもちゃを次の人にあげませんか?エコセンターでお預かりします。【出品したい方(南風原町民のみ)】レジカゴまたは箱に入れエコセンターに預けてください。(期間終了後もし残っていたらお持ち帰りをお願いします。【もらいたい方】何点でもご自由にどうぞ。【日時】9月30日(月)10:00~ 10月9日(水)16:00【場所】はえばるエコセンター【料金】無料【定員】15人

